

戦火のなかで、生きているたしかな手がかりは愛だけだった。それが許されぬ愛だとしても...



ハノーバー・ストリート

— 哀愁の街かど —

コロムビア映画提供

ラザルス/ハイアムス プロダクション、ピーター・ハイアムス フィルム

ハリソン・フォード/レスリー・アン・ダウン/クリストファー・プラマー

HANOVER STREET

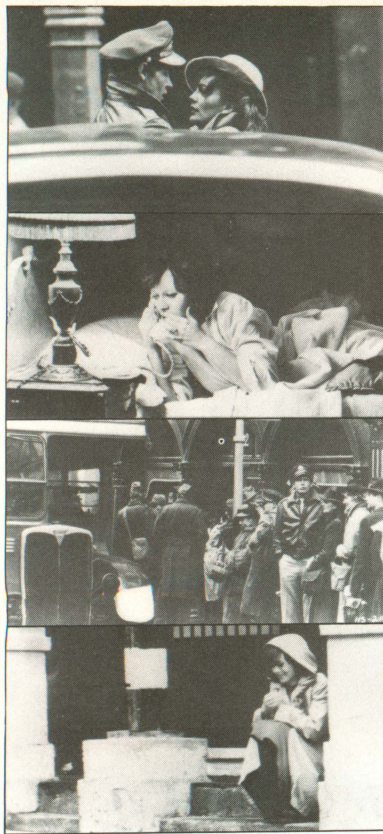
アレク・マッコークワン/リチャード・マシュール/マイケル・サックス

音楽ジョン・バリー/製作ポール・N・ラザルスIII/監督・脚本ピーター・ハイアムス

パナビジョン/テクニカラー

© 1979 Columbia Pictures Industries, Inc.





Hanover Street

ハノーバー・ストリート

哀愁の街かど

「戦火の中で燃えさかる愛の炎」

1943年のロンドン。戦火の中に生きる人々にとって、生きているという確証など何もなかった。そんなある日、ハロラン中尉とマーガレットは奇妙で運命的な出会いをした。ふたりは、ひとときのやすらぎの中で紅茶を飲み語り合い、すべてのことを忘れた。しかし、ドイツ軍の空襲が、すぐにふたりを現実の世界へ引き戻す。次々と炸裂する爆弾の雨。逃げ惑う人々、傷ついて倒れる人々。大混乱の中、ハロランはマーガレットを見失ってしまった。崩れ落ちる壁に今にも押しつぶされそうになりながらも、彼女を必死に捜すハロラン。あたりには傷つき倒れる人々。ふと、彼の脳裡に不吉な予感が走る。その時だ、身を震わせ泣いているマーガレットを見つけたのは。生きていた。彼女は生きていた。ふたりは互いに生きている喜びから、しっかりと抱き合い熱い口づけをかわした。

ハノーバー・ストリート。ふたりが出会い再会を約束した街かど。ハロランは彼女が来るのをじっと待っていた。彼のまわりにうず高く積まれた吸殻の山。半ば諦めて帰ろうとした彼の前にマーガレットが現われた。抱き合う二人に言葉はいらなかった。燃え上がるふたりの心とからだはもう押えることはできない、たとえマーガレットが人妻だとしても。ベットで激しく愛し合うふたり、その時、愛に生きたいと思うふたりだった。

戦火は日一日と激しさを増し、ハロランにとって今生きている確証は、マーガレットの愛だけしかなかった。そんな彼に、危険な任務が待ち受けていた……

「この秋の話題をさらうラブ・ストーリー」

死を身近かに感じる時、それは男と女の本当の愛が芽生える時なのかもしれない。第二次大戦のロンドン。戦況は切羽つまっていた。そんな時に、ふと知り合った男と女。愛するが故に求め合い、愛するが故に別れるふたり。これは、愛の名作「哀愁」を彷彿させる激しく燃える男と女の恋物語である。異色の宇画映画「カブリコン1」のピーター・ハイアムズ監督が初の恋愛映画に挑戦し、見事に成功を収めた記念すべき作品である。

「映像と音楽の見事な調和」

この映画は、見事なカメラ・ワークと音楽を抜きにしては語れない。世界に二台しかないパナグライド・カメラを駆使しての迫力あるチェイス・シーン、大胆かつまた繊細で美しいハロランとマーガレットのベット・シーンなど、すべてが画家出身のハイアムズ監督の手によって見事に映像化された。また、音楽は「野生のエルザ」でアカデミー賞を受賞し「007」シリーズでお馴染みのジョン・バリーが担当した。全篇に流れる哀愁をおびたメロディーと美しい映像とが調和し、ここに見事、一篇のラブ・ストーリーを完成させた。

「愛の物語を飾るフレッシュで豪華な顔合わせ」

貞淑な人妻を見事に演じたレスリー＝アン・ダウンは、久々にスクリーンに登場した美人女優として各界の注目を浴び、この映画出演を契機に、今やリズ・テラー、ショーン・コネリーなど大スターとの共演作が目白押しという超売れっ子ぶりである。

彼女と恋に落ちる若き空軍中尉に、あの「スター・ウォーズ」のハリソン・フォードが扮している。この映画で彼の憂いと情熱を含んだ瞳に見つめられた女性は、マーガレットばかりでなく、すべての女性の心を取りこにしようとする。

そして、彼女の夫を好演しているのは、「サウンド・オブ・ミュージック」の名優クリストファー・プラマー。まさに、フレッシュで豪華な顔ぶれがそろった。

近日愛のロードショー

新宿 **グランドオデオン**

(202)
0141

●特別鑑賞券¥1000(一般¥1300・学生¥1100のところ)劇場窓口にて発売中!